

令和3年度 女性委員・会員等と議会の意見交換会 (記録)

- 1 開催日時 令和3年11月14日(日曜日) 午前10時00分～午前11時30分
- 2 会場 胎内市役所3、4階(①全員協議会室、②委員会室、③301会議室)
- 3 実施要領 常任委員会別に3グループに分け、それぞれのテーマを設定し意見交換を実施。
- 4 参加者 15名(市内の女性委員・会員【12団体】)
青少年育成市民会議、市PTA連絡協議会、胎内市消防団、中条すこやかこども園、胎内市介護予防・日常生活支援体制整備推進協議会、中条町商工会女性部、胎内市民生児童委員連合会、保健推進員、黒川商工会女性部、JA胎内市女性部、農村地域生活アドバイザー、胎内市男女共同参画推進委員会
- 5 意見交換内容

【1班】テーマ：『子育て・教育・学び・防災について』

(子育て支援、こどもの教育、生涯学習環境、防災等)

【参加者】

*女性：4名

*議員：総務文教常任委員会(5名)

委員長 坂上清一、副委員長 森本将司

委員 丸山孝博、渡辺宏行、笥智也

【発言要旨】

- 1 授業参観が無く、運動会にも出席制限があり学校の状況がわからないが、子ども達は頑張っていると聞いている。
- 2 タブレットを活用し意見交換をしていると発声がなく活気がない。
- 3 体育の授業を観たら男女混合になっていたが、生徒数が少なく男女の人数のバランスが悪かった。
- 4 雨が降ると玄関が水浸しになる。(中条中学校)。
- 5 タブレットで意思疎通をすることに慣れると、コミュニケーション能力が心配。
- 6 市民会議で育成の行事が開けないため、学校等に寄付を申し出たが、顔認証体温計付き

消毒器などコロナ関係物品の希望が多かったが、市で十分に購入はしていないのか。

- 7 コロナ禍でのタブレットの活用が遠隔授業を目的としているのか、タブレットに触れさせたいのかがわからない。
- 8 県内で地域による学力差を感じる。(高校生)
- 9 夜遅くまで利用できる生涯学習施設があると良い。
- 10 避難訓練や心肺蘇生を女性消防団で行っている。
- 11 町内独自の防災マップを作っているところもある。
- 12 アパート住まいの人たちも防災組織に参加してもらいたい必要がある。
- 13 アパートに防災無線がないところもある。
- 14 地域にいる防災士さんに自主防災組織でもっと活躍してもらいたい。
- 15 防災意識が地域によって差がある。
- 16 女性消防団についての認知度が低い。
- 17 部活動でふれすぼまでの移動費を保護者が負担している。市で負担しても良いのでは。

【2班】テーマ：『健康・福祉・環境について』

(健康づくり、地域支え合い活動、介護予防、環境問題等)

【参加者】

*女性：6名

*議員：厚生環境常任委員会（5名）

委員長 渡辺秀敏、副委員長 桐生清太郎

委員 渡辺 俊、森田幸衛、坂上隆夫

【発言要旨】

- 1 介護予防教室は女性の参加者が多いが男性の参加者が少ない
- 2 サロンを立ち上げて参加者が少ない
- 3 サロンに男性の参加を促すために、男性が興味のある教室を開催したりしてはどうか。
- 4 サロンの開催などは社協が協力的で対応が早くとても助かっている。
- 5 男性だけのサロンもある。グランドゴルフや趣味の寄り合いが活発な所もあり地域性がみられ、まとまりが良い地域では活発である。
- 6 通いの場立ち上げ支援に関する補助金が、講師謝礼に使えないなど、使い道が不便。
- 7 男性の一人暮らしが増えている。周りのひとが気遣ってあげる体制が必要では。
- 8 公共の場の防犯カメラがないので設置が必要なのでは。
- 9 昨年、熊の出没が多かったが熊への対策と子どもも利用する公園の鳥獣対策はどうなっているのか。

- 10 洋上風力発電事業がよくわからない。
- 11 広報のクイズでSDGsを取り上げ、楽しみながら勉強できるようにしてはどうか。

【3班】テーマ：『産業・雇用・生活基盤について』

(地域活性化、まちづくり、産業振興等)

【参加者】

*女性：5名

*議員：まちづくり常任委員会（5名）

委員長 小野徳重、副委員長 羽田野孝子

委員 薄田 智、渡辺栄六、八幡元弘

【発言要旨】

- 1 ふるさと納税の実態について教えてほしい。
- 2 街なかは道が狭く車でのすれちがいが難しい。道路拡張を考えていますか。
- 3 全国にアピールできるまつり等があればいい。
- 4 地域活性化については、若い人が何人かグループでコロナ禍の中がんばっている。
- 5 今の女の子は、起業を目指すほど仕事のことを積極的に考えている。
- 6 人にやさしい街にできたらいいと思う。
- 7 SDGsは地域を活性化すると聞いている。SDGsに向け、胎内市は何に力を入れていくのか。
- 8 コロナ禍で飲食業だけでなく他のサービス業も困っている。
- 9 自営業で、コロナ対策の保障を受ける基準には達してないが客が少なく苦しい。
- 10 コロナに負けない券はありがたい。
- 11 特産品は何があるのか。胎内市の特産品が必要ではないか。
- 12 毎年、小学生からべにはるかスイーツの提案を出してもらい、その菓子を販売している。
- 13 女性と男性で賃金に差があると感じる。
- 14 奥胎内のゲートをもう少し早い時期に開けてほしい。
- 15 デマンドタクシーは評判がいい。
- 16 電車の本数が少ない。
- 17 人口を増やすには、子育て環境の改善が大事だと思う。